

令和3年度 第5回理事会

令和4年（2022年）3月25日

一般財団法人 東京都立新宿高等学校 朝陽会

第1号議案 令和4年度事業計画

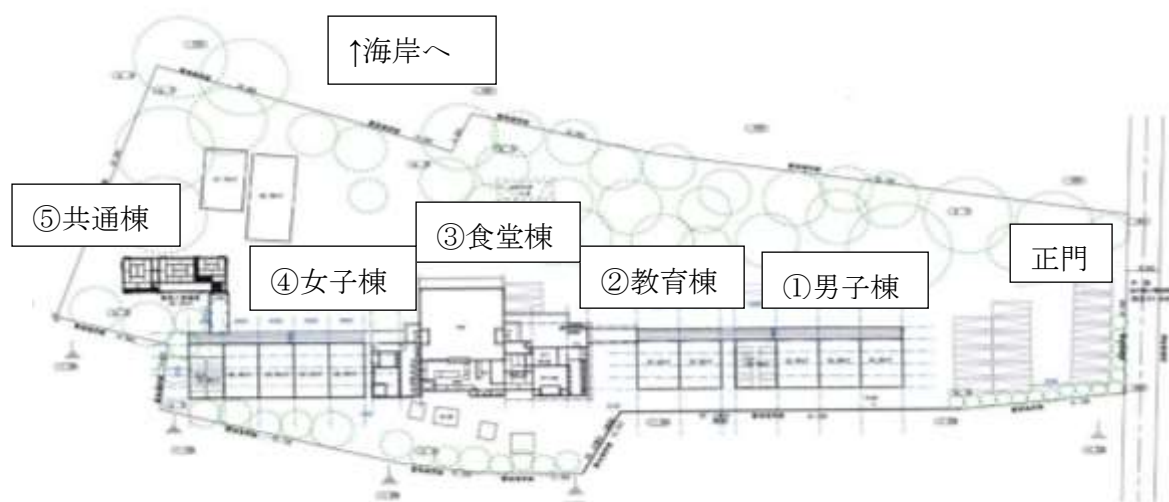
1. 館山寮の再建計画

・基本計画の概要

- 1) 男子棟の再建、女子棟の解体・再建、浄化槽更新を実施する。
- 2) 工期は2022年1月に着工、同年6月末の完成を目指す。
- 3) 施工は(株)加藤建設(南房総市)に発注し、基本設計、詳細設計および工事監理はニジアーキテクト一級建築士事務所(目黒区)に委嘱する。
- 4) 工事費総額は概算で11,203万円を上限とする。
- 5) 資金計画として、保険金および館山寮再建支援募金を活用するが、不足分は館山寮再建支援募金の呼びかけをより一層強力にし、2022年6月を目途に不足額を充当するように同窓会員各位の協力を仰ぐ。

・建屋の構造と工事内容

- 1) 従来の建屋の配置に多少の変更を加え、以下のような配置とする。
 - ①男子棟：すでに更地化されているので、7.2m×5.4mの分棟型宿泊室4室を直列的に配置し、男子の宿泊室とする。全室布団敷とし、1室12名。
 - ②教育棟：すでに更地化されているので、7.2m×5.4mの分棟型宿泊室2室を直列的に配置し、教員、OB指導員の宿泊室とすると共に臨海教室全体の管理を行う場とする。男子棟と教育棟の間に幅1.8mの通路を設ける。
 - ③食堂棟：管理人室は台風により雨漏り等が発生しているため、内装の一部を改修する。
 - ④女子棟：現存女子棟はシロアリの被害が甚だしいため、解体して建て替える。4.5m×8.1mの分棟型宿泊室5室を直列的に配置し、1室はOG指導者の、他4室を女子の宿泊室とする。全室布団敷とし、1室12名。
 - ⑤共通棟：既存の増築等で、保健室の機能を持たせるなど多目的に利用する。
 - ⑥浄化槽：当初は既存浄化槽が、引き続き利用可能と想定していたが、今回調べ直したところ、法不適格であることが判明したので、更新する。



・資金の計画

<u>館山寮再建第2期工事費用見積もり（概算）</u>			<u>（財）朝陽会設備資金（3月末見込）</u>	
設計・工事監理料	960（万円）		損害保険金	8,660（万円）
工事費	9,943		館山寮再建募金	3,357
初期費用	300		第1期工事	△1,600
計	11,203	← 差額 786 →	計	10,417

以上の通り、（財）朝陽会資金では、786万円不足することになり、何とか再建募金で賄えるように同窓会会員に呼び掛けているところです。それでも不足する場合は同窓会の100周年記念募金などからの補充をお願いしなければなりません。

2. 臨海教室の実施

- ・令和元年まで実施していた2泊3日の日程で4期12日間行うことで予算編成をしました。また、台風被害及び経年劣化により必要な備品の購入に対しては、同窓会として学校の求めに応じて可能な範囲で資金の援助をすることで予算編成をしています。
- ・同窓生に対する館山寮の開放
臨海教室の前後2～3週間程度同窓生に開放したいと考えていますが、定員は従来の50%とします。

3. 従来からの継続案件は引き続き支援または検討します

- ・朝陽バラ会への支援、
- ・旧水上寮の跡地の活用問題

第2号議案 令和4年度予算(案)

1. 館山寮再建投資

・工事関係	9,943 万円		男子棟再建	4,572 万円
			女子棟改築	3,774 万円
			浄化槽更新	1,355 万円
			管理人室修復	207 万円
			その他工事費	35 万円
・設計監理関係	960 万円			
・初期費用	300 万円	*	(固定資産 100 万円、経費 200 万円)	

11,203 万円 (一部は令和3年度に支払済)

*初期費用は、カーテン、扇風機・空調機、棟内棚・下駄箱等建具・造作等と台風被害で使用が出来なくなった什器備品類の購入

2. 経常収益

- ・賛助会員受取会費は納付率を前年と同等とした
(3年度 78%、2年度 84%、元年度 83%、30年度 83%、29年度 85%、28年度 82%)

単位：万円

主な項目	4年度予算	3年度実績見込	増減
賛助会員受取会費	374	374	0
寮使用料収入等	653	0	653
寄付金	5	5	0
計	1,032	379	653

3. 経常費用

- ・減価償却費は第二期工事投資のため増加
- ・委託費は臨海教室実施による給食委託費用の増加
- ・消耗什器備品、消耗品の増加は上述再建投資の経費部分の増加

単位：万円

主な項目	4年度予算	3年度実績見込	増減
減価償却費	891	379	512
委託費等	683	55	628
光熱水・燃料費	111	64	47
消耗什器備品	100	0	100
消耗品費	122	9	113
修繕料	50	0	50
賃借料	40	0	40

保険料	49	33	16
助成金、負担金	31	11	20
管理人費用	50	50	0
その他	71 *	14	57
計	2,198	615	1,583

* 内予備費 30 万円

4. 経常収支増減額（経常収益－経常費用）

- ・令和4年度収支は－1,061万円、減価償却費を除いても什器備品、消耗品費の増加があるので現金収支は赤字になる

単位：万円

	4年度予算	3年実績見込	増減
当期経常収支	－1,166	－236	－930
（現金収支）*	（－275）	（143）	（－418）

* 現金収支とは、経常収支に減価償却費を加えた金額

5. 特別損失

- ・令和3年度は解体に伴う廃却資産の帳簿価格

単位：万円

	4年度予算	3年度実績見込	増減
特別損失	0	－23	23

6. 資金収支

単位：万円

	4年度予算	3年実績見込	備考
現金等期首残高	6,671	9,799	保険+募金－1期工事
当期現金収支	－275	143	
当期再建募金	786	618	
設計・監理費	－398	－562	総額 960
工事費	－6,616	－3,327	総額 9,943
現金等期末残高	168	6,671	

資金収支は、事業計画上の再建募金が集まること前提になっています。

以上